

2月5日(金曜日)

ドル/円

想定レンジは広めに

4日(木)の主な推移

ダウ平均株価

10002.18ドル  
(-268.37ドル)

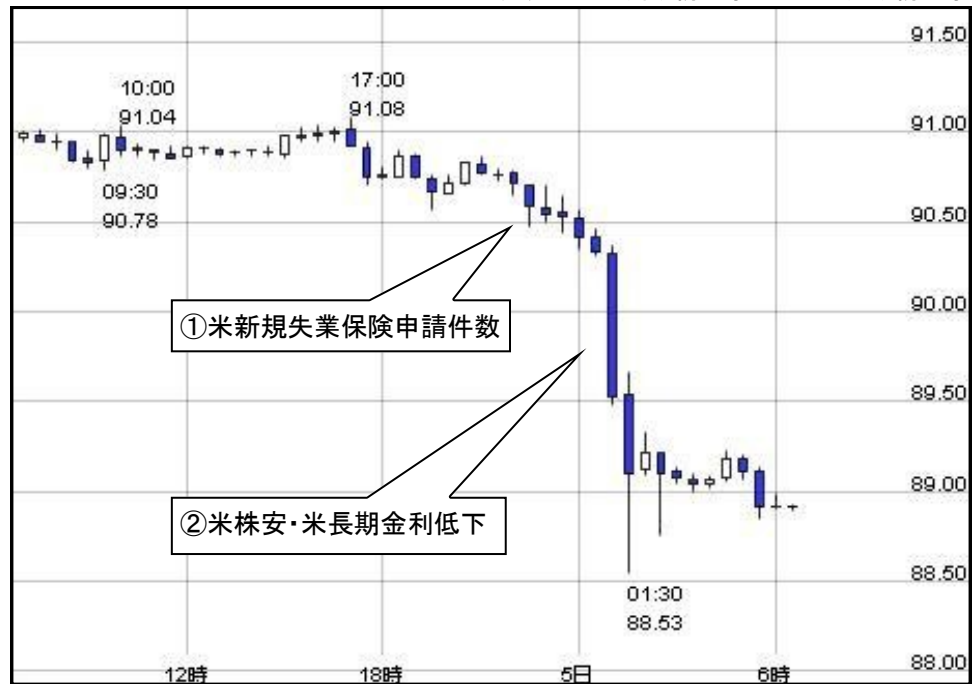
米長期金利  
(10年債利回り)

3.6097%  
(-0.0950%)

NY原油先物

73.14ドル  
(-3.84ドル)

チャート: 30分足 4日(木)朝7時 ~ 5日(金)朝7時



※チャートは30分足 日本時間にて表示 ※左表は終値ベース、( )は前日比  
出所:外為どっとコム

①

欧州の財政赤字に対する懸念が底流する中、22時30分に発表された新規失業保険申請件数が48万件と、市場予想(45万5000件)および前回数値(47万件)よりも弱い結果になったことから、リスクに対する警戒感が高まり、クロス円(ユーロ/円など)主導で円高で推移した。

②

欧州の財政悪化懸念や米経済指標の悪化を背景にダウ平均株価が大幅安で寄り付き、その後も下げ幅を拡大。米長期金利も大幅に低下する中で、ドル/円は節目の90.00円を割り込むとストップロスを巻き込みながら急落し、一時88.53円と昨年12月14日以来およそ1カ月半ぶりの安値を付けた。

### 上昇要因(ドル高・円安)

- ・米経済の回復
- ・米長期金利の上昇
- ・米国の超低金利政策の長期化観測の後退
- ・金融市場全体のドル売りムードの緩和
- ・日銀の追加資金供給
- ・日本の財政赤字への懸念

### 下落要因(ドル安・円高)

- ・米金融規制案への懸念
- ・米国の超低金利政策の長期化観測
- ・米長期金利の下落
- ・米経済の回復の鈍化
- ・外貨準備通貨としてのドル需要の減退
- ・米財政赤字悪化懸念の高まり
- ・金融市場全体のドル売りムードの高まり

### 本日の見通し

本日の予想レンジ: 87.50-91.10円

昨日は「欧州の財政赤字への懸念」というこれまでも注目され続けていた材料に、米雇用統計悪化への懸念という材料が加わる中で欧州及び米国株が下げ、リスク回避の動きから債券が買われて米長期金利は低下、為替は円買いに急激に傾いた。ただ、金融市場が急変する説明として十分なきっかけとなる出来事があったわけでもなかったため、市場では先の読めない不安感が広がっている。

本日のアジア時間については、米国の株安の流れを引き継ぎ、株が下落する公算が多い。従って、為替は円高方向に振れやすいものと考えられるが、欧州勢が参加する夕方以降は、米雇用統計の発表前に昨晚取ったポジションの調整(円売り)に向かう可能性もある。また、注目の米雇用統計については、結果が予想を上回れば、ドル/円はドル高・円安に急転換するとみられる。一方、非農業部門雇用者数がプラス予想に反して減少しているようなら、一層円高が進もう。

今日は上下どちらに振れてもレンジは大幅なものになるとみられる。取引は慎重を期したい。

### 本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 時間は「日本時間」

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
2/5(金)	14:00		(日) 12月景気動向指数・速報[先行CI指数]	90.7	93.5
	14:00		(日) 12月景気動向指数・速報[一致CI指数]	96.0	97.3
	22:30	◎	(米) 1月失業率	10.0%	10.0%
	22:30	◎	(米) 1月非農業部門雇用者数	-8.5万人	+1.5万人

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com